

第19回自然災害科学総合シンポジウム開催について

文部省科学研究費（自然災害特別研究）による〔自然災害科学総合研究班〕が中心となり、自然災害科学に関する研究発表と討議の機会を提供する目的で、自然災害科学総合シンポジウムを下記により開催します。

自然災害科学会の発足に伴い、従来本シンポジウムで行なわれていました一般講演は学会講演会でなされ、このシンポジウムでは計画研究、突発災害調査研究とともに、選定課題にしばって研究発表されることとなりました。

つきましては、下記に選定課題を提示しますので、これ等の課題に関連する講演を募集しますから、何卒ふるって御参加下さるよう御案内申し上げます。また、関係方面の方にも趣旨御説明の上、御勧誘下さいますようお願い致します。

記

1. 期 日 昭和57年11月1日（月）
2. 場 所 吹田市山田丘 大阪大学工学部
3. 計画研究報告（昭和56年度終了の計画研究：6件の報告）
突発災害調査報告（昭和56年度実施調査：1件の報告）

4. 選定課題にかかわる講演の募集：

下記に選定課題を示しますので、関連する選定課題番号を明記の上、お申し込み下さい。申込締切：7月末

講演申込み受理後、所定印刷用紙（頁当たり約2,000字、2または4頁とする）を送付しますので、オフセット印刷可能な原稿を提出して下さい。

原稿締切：9月10日（必着）

5. 研究発表の型式：

各選定課題毎に、複数の指名発表者と応募発表者を予定しています。

各専門部会あるいは専門分科会において選定課題の発表・討議に当てることができる時間は最大約4時間しかありませんので、応募の件数によっては従来的一般講演の型式をとることができないかもしれません。場合によっては応募者を含めたパネル・ディスカッション等の型式も考えています。従いまして、発表の型

式については実行委員会に御一任願います。

6. 講演予稿集の配布：

予稿集は原則として当日、会場にて有料（実費）で配布します。

7. 懇親会 期日：昭和57年11月1日（月）午後6時より
場所：大阪大学職員食堂「さわらび」（予定）
会費：5,000円（予定）

申込み：なるべく講演申込みと同時に申し込み下さい。

8. 申込（連絡）先：各種申込み、あるいはお問合せは下記へ願います。

封書の表には、「自然災害シンポ」と朱書して下さい。

〒565 吹田市山田丘 大阪大学工学部土木工学科
気付

第19回 自然災害科学総合シンポジウム実行委員会
責任者：室田 明（関西地区部会長）、中辻啓二
電話 06-877-5111 内線 4913

9. 宿舎：宿舎についてはお世話致しかねます。

第19回自然災害科学総合シンポジウム選定課題

1. 台風による風の強さについて、
2. 洪水予報の最近の技術、
3. 海岸保全施設の防災機能の総合的評価、
4. 海岸構造物の被災限界の考え方、
5. 古期に発生した地すべりの再活動、
6. 斜面崩壊の要因と発生予測、
7. 最近の地震の前兆現象に関するレビュー、
一特に1978年伊豆・大島近海地震、1978年宮城県沖地震に関して一、
8. 有珠火山活動（1977～）の前兆及び随伴現象に関するレビュー、
9. 都市地震災害研究の問題点、
10. 流体力と土壌侵食（砂丘・乾燥地の飛砂・風食、傾斜農耕地の雨水流侵食海岸侵食）、
11. 混相流にかかわる災害（地ふぶき・なだれ、土石流、火砕流）、
12. 災害と警報・避難。